

事務事業マネジメントシート(令和2年度実績と令和3年度計画)

令和3年12月20日更新

事務事業名		教育介護補助員配置事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連		<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連		<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合 計画 体系	政策	3 教育の健康					所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	栗木 清智				
	施策	9 義務教育の充実					所属課	学校教育課	担当者名	曾我 陽子				
	施策の柱	31 学力の向上					所属班	学務指導班	(内線)	5325				
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	根拠	合志市教育介護補助員設置要綱						
終了、開始年度		一般	10	1	3	10614	法令							
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返		(開始年度 18 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		(~ 年度)				

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	特別支援学級における生徒数も増加の一途をたどり、1クラスの在籍児童数が増え、一人の担任では十分な学習指導や生活指導に支障をきたすようになってきたため、学校現場や保護者の要望により配置した。学級には、肢体不自由児学級、自閉症・情緒障がい児学級、知的障害がい児学級、難聴学級があり、保護者においても、以前のように養護学校で学ぶより、普通学校で健常者と一緒に学ばせたいという思いや地域の学校で学ばせたいとの思いが強くなっている。また、LD（学習障害）・ADHD（注意欠陥多動性障害）等の障がいのある児童生徒の学校を挙げる。学習支援、生活支援への取り組みを行っている。
【事業の内容】	【事業の内容】各学校における特別支援学級在籍児童生徒数に応じて、有資格者の教育介護補助員（介護福祉士、訪問介護士、看護師、保育士）を特別支援学級の児童生徒の状況に応じ配置し、学級担任の補助として障がい児の学校生活においての学習補助、トイレの介助、身辺の世話など支援を行う。
【業務の流れ】	一般公募、採用面接選考、各小中学校へ配置、毎月の勤務報告確認
【主な予算費目】	報酬、期末手当、費用弁償

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
①手段(主な活動) 2年度実績(2年度に行った主な活動)(DO)	3年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
各小中学校の特別支援学級在籍児童生徒の状況に応じて35名配置した。	来年度特別支援学級に新たに就学・入級する児童の状況及び令和3年4月に楓の森小中学校が開校することを踏まえ、37名を配置する。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	予算の主な増減の理由
ア 介護補助員派遣数 イ	新設校の開校に伴う報酬等の増
②対象指標(対象の大きさを表す指標)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
小中学校における特別支援学級（肢体不自由、自閉症・情緒障がい、知的障がい、難聴、病弱）の在籍児童生徒と特別支援学級の担任教師	ア 特別支援学級在籍児童・生徒数 イ 特別支援学級の担任教師数（加配除く）（=特別支援学級数）
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
特別支援学級及び普通学級在籍の日本語指導が必要な児童生徒が支障なく授業を受けられるようになる。担任教師は本来の教育に専念できるようになる。	ア 支障なく授業が受けられた日数の割合 イ 支障なく授業が行えた日数の割合
*③成果指標設定の理由と 3年度目標値設定の根拠	総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0
特別支援学級の児童生徒がもつ障がい等により、本来受ける（授ける）べき教育ができないことがないようにする ことが、本事業の目的であるため。	

(2)各指標・総事業費の推移			単位	30年度実績(決算)	31年度実績(決算)	2年度目標(当初予算)	2年度実績(決算)	3年度目標(当初予算)	4年度予定	5年度見込	6年度見込
① 活動指標	ア 人	イ	人	35	35	35	35	37	37	37	37
② 対象指標	ア 人	イ 人	人	293	310	300	363	310	320	330	340
③ 成果指標	ア %	イ %	%	100	100	100	100	100	100	100	100
投 費 量	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 繰入金 一般財源	千円	939		2,203	1,623	3,116	2,203	2,203	2,203	2,203
	(A) 事業費計	千円	53,438	50,679	54,328	55,246	65,845	61,815	61,815	61,815	61,815
	(A)のうち指定経費	千円	52,114	50,679	0	0	0	59,612	59,612	59,612	59,612
	(A)のうち時間外・特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人 件 費	正規職員従事人数 延べ業務時間	人 時間	2 70	4 80	6 91	4 80	6 91	6 91	6 91	6 91	6 91
	(B)人件費計	千円	275	317	362	315	362	362	362	362	362
	トータルコスト(A)+(B)	千円	53,713	50,996	54,690	55,561	66,207	62,177	62,177	62,177	62,177

事務事業名	教育介護補助員配置事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	-------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は2年度の事後評価、ただし複数年度事業は2年度実績を踏まえての途中評価

3 評価結果の総括 (CHECK)

合志市の特別支援教育への取り組みについて噂等で知って、本市に転入して来られる保護者もあるため、年々特別支援学級に入級する児童生徒数が増加している。特に、最近は特別支援学校ではなく、地域の小中学校へ入学希望される保護者が増えて、学校の教職員だけでは対応できない生活介助が必要な児童生徒も多くなっている。益々、この事業は学校にとって、必要不可欠な事業となり、事業費も増加していくと考える。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

- ### (1) 今後の事業の方向性（改革改善案） ・・・ 複数選択可

廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善（有効性改善）
事業のやり方改善（効率性改善） 事業のやり方改善（公平性改善）
現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

- (3) 改革 改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策